

ワイエツト。ロシアを除く地球表面の全資本主義的世界は、  
 ちらを向いて、恐慌のうつ巻きを見るのみである。

昨年秋以来、ブルジョアジーは、恐慌の終末、景気の好轉  
 を宣傳し、放送して来たが、ことごとく失敗に終つた。恐慌  
 は緩和するどころか、いよゝく激烈となつて来た。  
 かゝる恐慌激化の跡は、その根本様相を示す、物價と貿易  
 と生産と、關する次掲の三表によく現はれてゐる。物價の暴  
 落、貿易の大萎縮、生産の激減は明瞭であらう。

(第一表) 世界主要國物價低減表 (大正三年七月—一〇)

國	本年		前年		本年上八ヶ月間低減率
	八月	七月	八月	七月	
日(國內品)	二二・三	二一・四	二二・九	二二・四	五・〇%
米(穀類)	一六・八	一六・六	一七・七	一五・四	五・七%
英(穀類)	九・九	一〇・〇	一〇・八	一〇・二	八・九%
米(穀類)	九・三	九・四	一〇・八	一〇・二	八・九%
米(穀類)	九・二	九・五	一〇・八	一〇・六	一〇・八%
ドイツ	二〇・二	二一・七	二二・四	二一・六	六・五%
フランス	九・二	九・四	一〇・一	一〇・八	八・六%

(第二表) 世界主要國貿易表 (二月以後八ヶ月間累計)

國	本年		前年		對前年比減額割合
	輸出額	對前年比	輸入額	對前年比	
日(百萬圓)	七・八九	一九・三%	八・七二	二四・七%	
英(百萬ポンド)	三・〇七	三三・三%	五・五三	二二・七%	
米(百萬ドル)	一・六六四	三七・〇%	一・四四九	三三・四%	
ドイツ(百萬マルク)	六・三九八	二二・三%	四・八二二	三三・九%	
フランス(百萬フラン)	二・〇九七	二八・四%	一・四三三	三二・〇%	

(第三表) 世界主要國石炭輸出額表 (百萬噸)

國	本年	前年
日	一・九	一・九
英	三・〇	三・〇
米	一・六	一・六
ドイツ	一・六	一・六
フランス	一・六	一・六

(2) 金融恐慌の展開

世界恐慌は、單に量的に擴大したのみでなく、質的にも深刻化した。昨年秋から本年上半年にわたつて現はれた恐慌の主要なる特徴の一つは、恐慌の破壊力が、農業國から英米獨の三大工業國に移りし、更に最近には、また新たに他の様相へと發展する傾向を示してゐる。それは、既に昨年以來アメリカの諸地方に於て銀行の破綻となつて現はれて来た金融恐慌の擴大である。昨年中に於て、「ドルの國」といはれる世界金融資本主義の王國アメリカだけで約一千の銀行(その預

石炭	本年六月	前年六月	前年同月
米	二九・五九	三五・二八	四〇・〇〇
英	一七・一三	一七・三三	二〇・六三
フランス	四・〇二	四・二二	四・四八
ドイツ	九・三三	一〇・八〇	一三・六二
鐵			
米	一・六六	二・九八	三・五八
英	三・三二	五・七	六・四
フランス	七・二	八・四	八・六
ドイツ	五・五	七・六	八・〇
鋼			
米	二・一	三・四七	三・三五
英	四・三	六・一	六・一
フランス	六・七	七・五	七・八
ドイツ	七・四	八・五	九・六

金額九億数千萬ドル)が休業してゐたが、遂に本年六月より七月にわたるドイツの危機とそれに關聯するドイツ賠償問題によつて世界的となり一昨年秋以来、二十ヶ月にわたり擴大深化した世界恐慌は決定的に金融恐慌の段階に進入つた。それに狼狽したアメリカは「フーズアー景氣」といふ鳴物入りの宣傳で景氣の挽回を策したが、それも淡雲の如く消え去つて、その後には、より深刻な恐慌を現出した。そのうちに金融恐慌はドイツからイギリスに移り、遂にイギリスをして金本位制を停止させた。その影響は、全歐洲から印度にまで波及し、金輸出禁止、金利の引上げなどを餘儀ならしめ、いまままで世界の金の四分の三を持つて悠々としてゐたフランス及びアメリカにまで及び、恐慌は全世界の資本主義の指導的部面たる金融部面を破壊せんとしつゝある。

かゝる傾向は、必然に金の爭奪戦を刺戟し、此戦ひを通じて、資本主義國家間の對立を激化した。次表に見れば、米、佛兩國に於ける金の激増と英獨に於ける減退が明瞭である。これらの不均衡が、全資本主義世界を混亂に陥れてゐる。

世界主要國金保有高表 (百萬ドル單位)

國	本年七月	前年七月	前年一月
米	四・五八六	四・一六〇	三・九二二
英	六・四三三	七・四一	七・三二
フランス	二・二九〇	一・七七五	一・六八三
ドイツ	三・三五	六・二四	五・四七
日	四・二五	四・四〇	五・一〇

を危機に陥れ、アメリカに三へ十二億ドルの赤字を出したところの——に襲はれた。恐慌もますます強烈である。此金融恐慌が、各國の政治的對立と階級的對立の激化をもたらした。ドイツの危機は、一方では、獨佛の政治的對立、他方では、ドイツ國內に於ける階級的對立の激化、社會的不安と動搖が重大原因なのだ。イギリスもまた同様だ。そして何れも、國內的には勞働階級を壓迫——ドイツのブリュウニング獨裁内閣、イギリスのマクドナルド舉國一致内閣のやり振りを見よ——と、他方では、帝國主義戰爭の危機へと進んでゐる。自由貿易の祖國——近年は言葉だけだったが——だつたイギリスが、いよゝく保護關稅を設けやうとしてゐる國內的階級的對立と相關聯しつゝ、世界資本主義全體における經濟的、政治的對立は、いやが上にも激化した。

(3) 失業の激増

かうした世界恐慌は、必然に、勞働に對する、空前の猛烈なる攻撃となり、賃銀は強力的に切下げられ、失業者は大衆群をなして、街頭に放り出された。次表を見よ！救済を旨とするブルジョア統計によつてさへ、昨年から本年にかけていかに大なる失業者が街頭に投げ出されたかは餘りに明かだ。少くも五割、ベルギーの如きは五倍の激増ではないか。

世界各國失業者割合表 (一・點%)

國	本年七月	前年同期
英	三・三・六	一五・八

(又は五六六)